

令和4年秋完成予定

「防災のシンボル」めざし

消防庁舎設計案選定

北見地区消防組合訓子府支庁庁舎は、昭和43年に現在地（元町）に建設され52年を迎えました。施設の老朽化をはじめ、消防車両などの規格の大型化による狭小化により、維持改修費用の増額や新型車両への更新ができないうるなど、設備の課題がありました。

消防庁舎建設には、財源対策が大きな問題となっていました。国が令和2年度に有利な借入金制度（※）の拡充を図ったことに伴い、今年度消防庁舎の建設に着手することとしました。

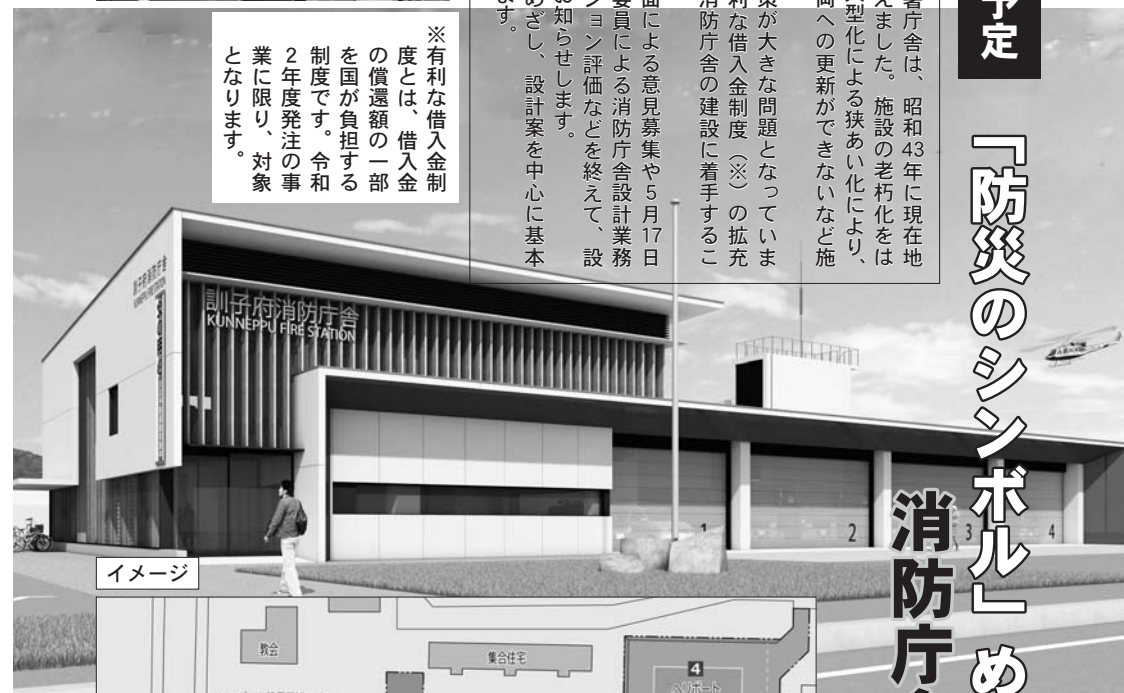
消防庁舎の建設のため、紙面による意見募集や5月17日に町内の各界から35人の評価委員による消防庁舎設計業務プロポーザルのプレゼンテーション評価などを終えて、設計案が選定されましたので、お知らせします。

今後、より良い施設整備をめざし、設計案を中心に基本設計、実施設計を行ってまいります。

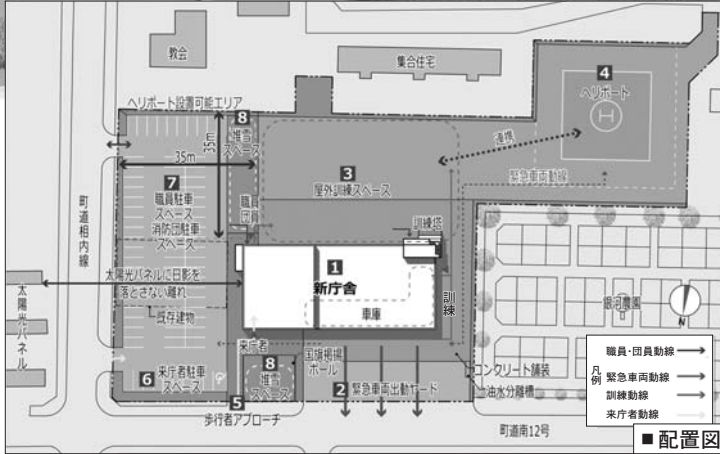
消防庁舎設計業務プロポーザルプレゼンテーション



※有利な借入金制度とは、借入金の償還額の一部を国が負担する制度です。令和2年度発注の事業に限り、対象となります。

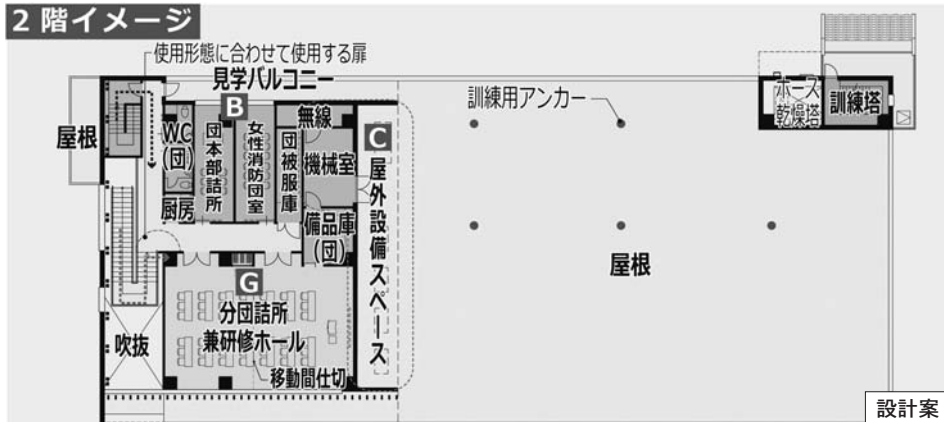
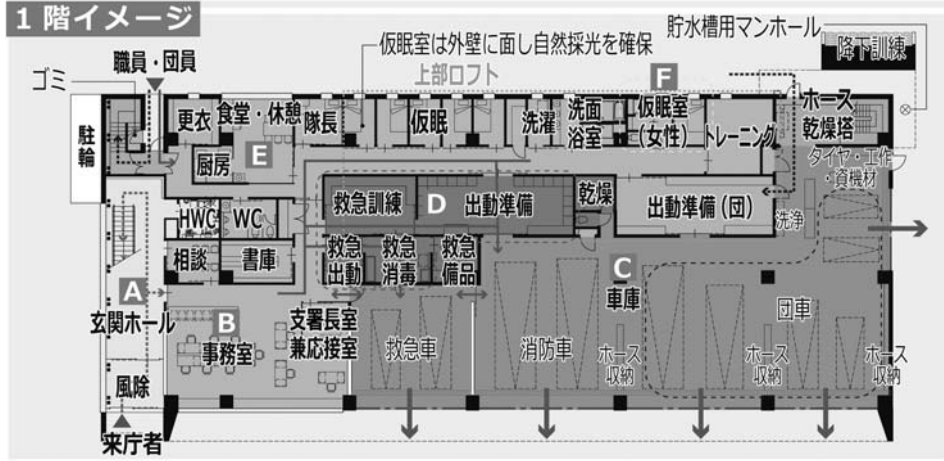


イメージ



設計案

プレゼンテーションなどで出された主な意見



- ・事務室が1階にあり、来庁者に早急な対応ができる
- ・事務室から出動ヤードが確認できる
- ・玄関ホールに展示スペースが設けられ、町民に親しんでもらえる工夫がある
- ・屋上訓練ができ、見学バルコニーも配置されており、消防訓練に配慮されている
- ・車庫内の消防車両が縦列に格納されていないため、全ての車両がスムーズに出動できる
- ・堆雪スペースが確保されている
- ・緊急時など町道相内線への車両動線が必要である
- ・2階の団本部詰所、女性消防団室の形状、面積を拡充する
- ・車庫前のスペースを拡充する
- ・消防職員や消防団などの意見をまとめ、より良い計画とすること